

拝啓

寒さも遠のき春の足音が聞えてくる今日この頃です。

この度は、息子の復学に際して多大なご尽力を
頂き誠にありがとうございました。

お陰様で息子は1日も休むことなく学校に行き
ました。そしてオ-希望の高校に合格し、晴れやかな
気持ちで卒業式を迎えることができました。

復学までは週3回のカウンセリングでした。私にはこの
週3回のカウンセリングで心がとても軽くなった記憶が
あります。どんなにうれしかったか、不登校の話は誰にも
話せず水野先生がそばにいてくれた事がどんなに心強
かったか今でも覚えています。また経路登校中も週3回
の連絡はもとより、朝の登校時間、休日、夜遅くでも、どん
な相談でも先生は連絡を下さいました。こんなにもそばに
いてくれたんだと先生の対応に深い愛情を感じ、涙がこ
ぼれました。

中2の11月息子は「キモイ」と云われ、がまんにがまん
を重ねて学校に行かなくなりました。スクールカウンセラ
ーさんの対応でも行かず、私達は藁をも掴む思いで
ペアレント/キャンプの支援をお願いしました。

会話1-1では、私の対応がいかにもかたかく扱い、提案、指示、命令をしていたかを細かく教えて頂きました。

この会話1-1は私の子育ての糧になりました。指示や命令、提案をしない事で私は「待つ」事を教えて頂きました。何も云わなくても子供は自分の事をする様になりました。

またこの会話は甘えさせるのではなく受け入れる。そして私の瞳は彼のありのままの姿を見つめていました。今では息子の表情を見つめています。「いいよ」と言いながら不服そうな顔をしたり、頼まれ事をしてあげると本当にうれしそうな顔をしています。受け入れる会話の中に息子の思いや考えそして表情の中に本当の気持ちるくみとれます。

先生に経緯登校を支えてもらいながら息子は自分自身を見直していました。訪問の先生と受験の小論文の練習の時に書いた作文ですが息子の本当の気持ちを書いた作文なので添付しますね。

そして私も自分自身を見つめ直していました。過去を振り返り時には苦しみながら……

「だから云ったじゃない。あんたはT=らしかT=いんT=から」息子はガクンと肩をおとしうなだれました。これから先が私達家族の不登校の始まりでした。息子が同級生の女子に「キモイ」と云われる事を私に相談してきた時の私の言葉でした。今もこの息子の姿は目に焼きついていきます。

私はずっとこの事を考えていました。「なぜ相談された子にあんた

冷たい言葉を投げかけたのだろう、そして「ガクンとまるで音まで聞こえてきそうな息子のうなだれ方はなんだったのだろう」と・・・たぶん私の言葉は子供を思ってではなく世間から逃れるための言葉。自分も云われたくないために子供をつきはたしてしまっただけだと思います。そしてあの「ガクン」という息子の姿は今ならわかります。息子の自尊心がくずれた姿だと、母親という最後の砦がくずれた姿でした。息子のいじめは私の言葉が切りおれたでした。

私はこの支援で「子供は失敗しながら学ぶもの。そして家庭に不満がないと子供は前をむいて歩いていくもの」と学びました。困難を自分の力で乗り越えて行く事が自立でありそのつらさをずっと見守り続ける事が母の深い愛情だということを知りました。そしてもしそのつらさに耐えきれず社会から逃げたそうとした時「逃げたしてはいけない。戦うんだ」と伝える事が父の愛情だとわかりました。これが私の支援後の道になりました。

これから息子はあらゆる困難にあうと思います。けれど私達夫婦は決して道をあやまることなく先生の教えに従っていくと思います。(まだおぼつかない足どりでですが...)

去年の今頃、私はキラキラとまぶしい笑顔で近くを通る高校生をうらやましく思っていました。今息子はその中にいます。キラキラとまぶしい笑顔、希望にみちた学生生活を送ろうと...

水野先生、訪問の先生方、そしてスタッフの皆さん、1年間お世話になりました。そしてありがとうございました。皆さんにとっても感謝します。

ペアレントキャンプのさらなる活躍を期待しています。

敬具

(2010. 4. 11)

追伸、主人の単身赴任中の息子の不登校でしたが、去年4月出世をあきらめ戻ってきてくれて、その後すぐに息子を復学させて頂きましたので、会社では家族のために出世をあきらめ息子を復学させたと今では英雄だそうです。